～ 夢ひとすじに ～

宮原中だより

学び　磨き　鍛え　羽ばたけ

令和８年度　第６号
令和８年１０月１日（木）発行
さいたま市立宮原中学校
ホームページアドレス
http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp

「勉強を楽しくする方法」



日高市巾着田の彼岸花

校　長　　田　中　和　浩

私は、数学の教員ですが、小学校の頃からずっと数学は苦手でした。計算でよくミスをしたり、「dℓ」の単位の関係がうまく答えられなかったり。数学の勉強には、とても苦労していた子どもでした。

そんな私が中学生の頃から始めた勉強方法は、次のようなものでした

●「自分が分かる・できる問題」に繰り返し取り組みミスを減らす。自信をつける。
●「できそうな問題」に取り組み、「できなさそうな問題」はやらない。
●「わからない問題」は、「すぐに答えを見る」。模範解答の通りに解くことができるまで練習する。

そうしているうちに段々と問題を解くことが面白くなってきました。

「勉強を楽しくする」には、どうすればよいのでしょうか。勉強を楽しくするには、

毎日の学習をゲームのように細かく区切り、小さな達成感をつみ重ねることが効果的

なのだそうです。

子ども自身ができることは、目標を達成可能なものに設定して、コツコツと取り組めるようにすること。

子どもを支える大人ができることは、、達成可能な目標設定を支援し、子どもが自分の小さな成長を実感できるようにすること。ではないでしょうか。

学問を学ぶことは、学ぶ人の視野や考え方を広げてくれます。

数学を学ぶことの楽しさは、
●複雑に見える現象や問題の裏側にある「理屈」がすっきりと腑（ふ）に落ちる瞬間を味わえることです。

国語を学ぶことの楽しさは、
●言葉を通じて自分や他者を深く理解することができ、自分の世界を広げられることです。

英語を学ぶことの楽しさは、
●母国語とは違う言葉で話すことで視野が広がり、他国の人の予想外の考え方や文化に触れることができることです。

「学ぶこと」の楽しみ方に、実は「正解はない」気もします。いまは、インターネット環境が飛躍的に発展し、誰もが簡単に情報を得ることができる社会になりました。

生徒の皆さんには、学校で学ぶ経験を通して「学ぶ」こと「探究する」ことの楽しさやよさを実感してもらい、自分の興味があることを主体的に学べる人になっていただきたいと思います。

（※参照：AI 検索による）